

『アジア文化』投稿規程

『アジア文化』は、アジア、特に東アジア諸国の人文社会科学を主な研究対象とする学術誌であり、特別インタビュー、研究論文、研究ノート、学界情報、書評、書画などにより構成される。

本誌は中国、日本、韓国などアジア地域を研究対象とする人文社会科学の研究者が投稿できるものとする。

投稿論文の採否及び修正要請等の決定は、査読者の判断を踏まえ編集委員会が行う。

投稿締切日から三か月以内に採否の結果、修正要請などを著者本人に連絡する。編集委員会には投稿論文に編集上の修正を加える権利を有するものとする。

図表、手書き原稿等の編集によって生じた費用は、著者側が負担するものとする。

本誌に掲載されたすべての著作物の著作権は本誌に帰属する。転載や翻訳などをを行う場合、本誌編集長の同意を必要とするものとする。但し、著者本人の著作物についてはその限りではない。

本誌に掲載された著作物は、本誌が開設するホームページ上で公開する。著者による公開の承認は、本誌へ投稿した時点でなされたものとする。

『アジア文化』執筆要領

1 原稿作成について

- (1) wordで作成すること。
- (2) 本文は日本語、あるいは中国語で執筆すること。
- (3) 原稿には、タイトル及び400字の要旨を英語と母国語両方で作成しつけておくこと。
- (4) 3～5語以内のキーワードをつけること。

2 原稿本文は同じ書体・ポイントで統一すること。日本語はMS明朝の11ポイント、中国語は宋体小四のポイントとする。

3 注釈の番号表記は、〔 〕を用いる。参考文献の番号表記は()を用いる。注肩数字は、上付文字で1, 2を用いること。注釈と参考文献は文末脚注形式とし、文末に付すること。

4 日本語の注釈は、引用論文のタイトルは「 」、著書のタイトルは『 』を用いる。初回に引用した論文或いは著書は、著者名、論文名・書籍名、出版社、年代、ページ数を順に記載すること。

5 中国語の注釈は、初回引用の場合、引用した著作の著者名、論文名・書籍名、出版社、年代、ページ数を記載すること。

6 論文は日本語の場合、400字の原稿用紙で30枚以内、中国語の場合、6000～12000字以内とする。参考文献、脚注及び図表中の文字も文字数に含める。

7 原稿には表紙（カバーページ）を付し、著者・執筆者の姓名、所属、住所、電話番号、メールアドレスを明記すること。

编后记

“五月榴花妖艳烘。绿杨带雨垂垂重。五色新丝缠角粽。金盘送。（下略）”（宋·欧阳修《渔家傲·五月榴花妖艳烘》）。诗人欧阳修在这首词中用“五月”“榴花”“绿杨”“新丝”“角粽”“金盘”等事物，烘托了端午节习俗的气氛。

在东亚，日本每年的“端午の節句”（端午节），通过户外的“鲤鱼旗”与“美食”传达着节日的祈愿。韩国的“강릉단오절”（江陵端午节），则将美食、娱乐活动等“打包”成为世界非物质文化遗产。起源于中国的端午节和它深含的文化，已经成为东亚各民族共有的精神财富。

在亚洲，两河流域诞生了人类最早的诗史《吉尔伽美什》；日本诞生了世界最早的小说《源氏物语》；印度产生了最著名的两大史诗《罗摩衍那》与《摩诃婆罗多》；中国于十八世纪诞生了最伟大的文学巨著《红楼梦》。古老的东方以长江大河般的智慧，推动着人类文明的发展。

曹雪芹的《红楼梦》创作于清乾隆初年到乾隆三十年（1736—1765）左右，初以手抄本形式在坊间流传。清乾隆五十六年辛亥（1791年）由程伟元、高鹗整理出版，世称“程甲本”。乾隆五十七年壬子（1792年）又重新整理出版，世称“程乙本”。“程乙本”出版的第二年，即乾隆五十八年（1793）（日本宽政五年）就有日本商人将“《新镌全部绣像红楼梦》，共九部十八套”运到了日本。成为《红楼梦》走向世界最早的记录。

今年是《红楼梦》传播到日本228年，中国新红学肇始100年，为此我们策划了本期“《红楼梦》与世界特辑”，虽然篇幅不多，但这仅仅是个开始，《红楼梦》的魅力与影响，将伴随着东方文明的伟大复兴而走向世界。

本期张庆善先生的访谈，十分值得一读。张先生现任中国红学会会长，是新时期红学发展的亲历者和见证者，所谈内容生动而具有远见。本期还重新刊发了斋藤喜代子教授的《论<源氏物语>与<红楼梦>的色彩表现》，该文以比较文学的方法详细地考察了两部伟大作品的内在构成要素，为中日红学研究提供了新的视角。此外，铃木贞美教授的《日本的“自然”概念——论文艺文化史的重构》，以大视角考察了日本当下的文艺文化史研究，表达了作为一个学者的批评与识见。

本期共收有卷首语1篇，访谈1篇，论文16篇，学会资料2篇。无论是立论还是分析数据，都是作者精心研究的成果，期待着与读者共享。

编者
辛丑年夏至

アジア文化（第40号）

亚洲文化 Asian Culture

令和3年（2021年）06月30日発行

ISSN 0387-0316

表紙デザイン 味岡成美
本文デザイン 高俊良

発行所 アジア文化総合研究所出版会
発行者 『アジア文化』編集委員会
印刷所 石家庄星辰印刷有限公司

定価 2,200円（本体 2,095円+税）